



32th Technical Seminar
Okumura Corporation
2022.02.16



第32回 技術セミナー

インフラのこれから ～『よみがえらせる』方策～

「第 32 回技術セミナー」お問い合わせ先：

株式会社 奥村組 技術セミナー事務局

〒108-8381 東京都港区芝 5-6-1

TEL:03-6631-7605

Mail: tech-seminar@okumuragumi.jp

ご挨拶

奥村組は、本年も時節の話題を取り上げて「技術セミナー」を企画し、日頃ご指導賜っております皆様方へご案内させていただきました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を見送りましたが、今回、32回目を迎えることができましたのも、これまでにご参加いただきました皆様方や講師の先生方のご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。

わが国では、高度成長期に建設されたインフラ構造物の更新時期を迎え、また近年、自然災害の頻発、激甚化により、国民の命・生活・財産を守るインフラの重要性が増している中、老朽化したインフラに新たな価値を付加させ再生させる方策への関心が高まっていることを背景に、今回のテーマは、「インフラのこれから～『よみがえらせる』方策～」といたしました。

プログラムとしましては、日本大学の岩城一郎様、政策研究大学院大学の家田仁様、弊社社員による講演、さらに弊社社長をコーディネーターに、首都高速道路株式会社宮田年耕様、東京地下鉄株式会社 山村明義様、内閣総理大臣補佐官 森昌文様、東京工業大学 真田純子様によるパネルディスカッションを企画いたしました。

ご出席の皆様からご意見、ご指導をいただき、ますます有意義なセミナーにしていきたいと思っております。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年2月

株式会社 奥村組
技術セミナー実行委員会

目次

－メインテーマ－

インフラのこれから ～『よみがえらせる』方策～ 1

－講演①－

「地域のインフラはみんなで造り、みんなで守る」
－現代版普請のすすめ－ 3
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

－講演②－

政策研究大学院大学 特別教授 家田 仁 氏 9

－講演③－

株式会社奥村組 東日本支社リニューアル技術部長 西山 宏一 11

－パネルディスカッション－

パネリスト 13
首都高速道路株式会社 顧問 宮田 年耕 氏
東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 山村 明義 氏
内閣総理大臣補佐官 森 昌文 氏
東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授 真田 純子 氏
コーディネーター
株式会社奥村組 代表取締役社長 奥村 太加典

－過去の基調テーマと講演者－ 23

インフラのこれから ～『よみがえらせる』方策～

わが国では、高度成長期に建設された道路や鉄道など各種構造物が大量に更新の時期を迎えています。また近年、自然災害が頻発、激甚化しており、国民の命・生活・財産を守るインフラの重要性が増しています。

現在では新型コロナウイルス感染症という新たな脅威にも直面しています。これらのことから、老朽化したインフラに新たな価値を付加させ『よみがえらせる』（再生させる）方策が重要になっています。

今回のセミナーでは、各事業主様からのインフラメンテナンスの現状や課題のご紹介も交えながら議論を深め、これからのインフラのあり方について、様々な視点から示唆をいただきます。

「地域のインフラはみんなで造り、みんなで守る」

—現代版普請のすすめ—

いわき いちろう
岩城 一郎

日本大学 工学部 土木工学科 教授

【略歴】

1988年 東北大学大学院工学研究科 修士課程修了、
首都高速道路公団（現・首都高速道路株式会社）入社。
1996年 東北大学工学部土木工学科 助手、2000年 講師、2004年 助教授を歴任し、
2005年 日本大学工学部土木工学科 助教授、准教授を経て、
2010年より現職。
途中、1996年 コロラド大学（ボウルダー校）大学院 修士課程修了。

近年、高度経済成長期に集中整備された橋をはじめとする社会インフラの一斉老朽化が社会問題となっています。この問題は、技術力や財政力の不足する地方の市町村において特に深刻になっています。今後ますます過疎化・高齢化が進む中、社会インフラが廃れてしまうと、地域はまさに存亡の危機となります。本講演では、このような問題を解決するための一方策として、「地域のインフラはみんなで造り、みんなで守る」を合言葉に実践してきた取り組みについて紹介します。

この取り組みは東日本大震災から1年後の2012年6月に福島県平田村で始まりました。農村社会では元来、住民が必要とするインフラを自らの手で構築し、修繕する「普請」と呼ばれる制度が根付いています。

平田村では役場が道づくりに必要な資材（生コン）を、住民が労働力を提供し、村内の生活道路をコンクリート舗装により整備する事業が進められていました。講演者はそこに自らの研究室の学生を動員し、人手不足を補い、学生に現場実習の機会を与える取り組みをスタートさせました。この取り組みは毎年2回春と秋に行われています。また、福島県南会津町では、同じ仕組みを利用し、毎年夏に住民と学生が協働し、橋の欄干を簡易塗装する取り組みを進めています。ところが2012年12月に笹子トンネルの天井板落下事故が発生し、橋やトンネルの点検方法が抜本的に見直されることとなります。つまり、5年に1回の近接目視点検が義務化されるとともに、橋の日常的な状態を把握することが省令化されました。地方の市町村では定期点検が精一杯で、日常点検にまで人手や予算をかけることができません。そこで学生の卒業研究の一環として、住民でも橋の日常点検が可能なチェックシートを作成しました。このシートはA4両面のカラー刷りで、おもて面がチェックシートになっています。橋は水により直接的・間接的に劣化することがわかっているため、橋に水が溜まりやすい状況になっていないかを確認できるよう、排水柵の詰まりや土砂の堆積などをチェック項目に挙げました。また、住民の安全に配慮し、歩道や路肩から点検可能な部位に絞り、住民が親しみを持って取り組めるよう、色使いやフォントにも配慮しました。一方、うら面には橋の部位や損傷のカタログを示すとともに、橋に異常が見つかった際の通報システム（橋の119番）や、点検を行う際の安全上の注意事項も記載しています。



▲産学官民の協働による道づくり

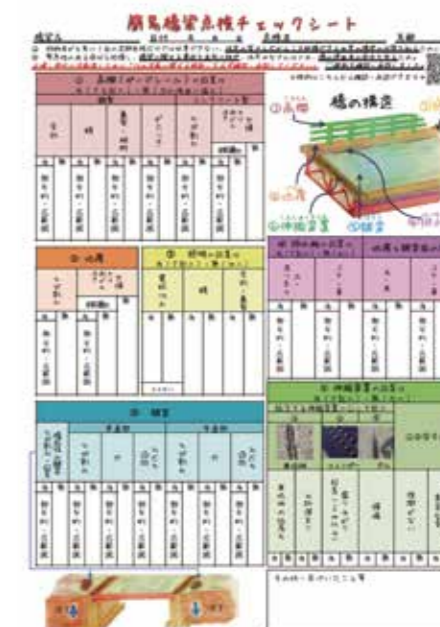


▲産学官民の協働による道づくり



▲住民と学生との協働による橋の欄干塗装

このシートを秋の平田村文化祭においてブースを出展し、村民に配布したところ、多くの方に近所の橋の点検を行っていただきました。続いて、回収した点検結果を研究室で分析するため、橋の各部位の劣化や土砂の堆積状況などを数値化し、10段階で評価を行い、点数の高いものを赤で、点数の低いものは青で5色に色分けし、電子地図上に表したところ、どこに予防保全の必要な橋があるかを一目で把握できるようになりました。これを「橋マップ」と呼んで住民に公表したところ、住民自らが週末に橋の上の堆積土砂や排水柵を清掃する「橋の歯磨き活動」へと進展しました。現在平田村ではチェックシートによる橋の簡易点検→橋マップによる見える化→橋の歯磨き活動というセルフメンテナンスサイクルが回り始め、村内に土砂のたまった橋がほとんど見当たらない状態になりました。このような取り組みは他地域にも徐々に浸透し、例えば宮城県にある黒川高等学校では課外授業の一環として生徒が地域の橋を点検し、予防保全の必要な橋に対し歯磨き活動を行っており、その範囲は4市町村に及んでいます。このような取り組みは2021年12月現在全国21市町村に広がり、住民や学生のみならず、インハウスエンジニアや地元企業にまで浸透しつつあります。このような活動を進めるねらいは2つあります。一つは住民が主体となり、橋の劣化の原因である水に着目した橋の簡易な予防保全を行うことで橋の長持ちにつなげようというものです。もう一つはこれまで身近なインフラはあって当たり前で無関心だった住民のインフラに対する感情を、関心そして愛着につなげることにあります。実際、平田村の住民や黒川高校の高校生たちはインフラに対する向き合い方が明らかに変わり、日ごろから地域のインフラに気をかけてくれるようになりま



▲橋の簡易点検チェックシート（おもて側）



▲橋マップによる点検結果の見える化



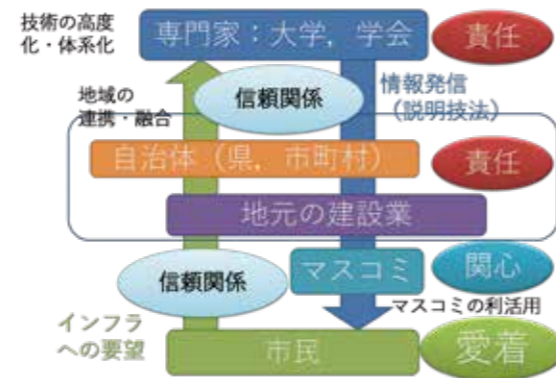
▲橋のセルフメンテナンスモデル

した。

(詳しくは <http://bridge-maintenance.net/> 参照)

社会インフラの中には都心の高速道路や地下鉄など、我が国の人流・物流を支える大動脈もあれば、通行台数は少なくても地域の生活に欠かせない橋もあります。目的は違ってそこに住む人々にとって重要なことには変わりません。大切なことはこうした橋の多様性(ダイバーシティ)を理解し、尊重することで、それぞれに合ったやり方で長く使える方法を考えることだと思います。

地域のインフラは住民の生活を支えるまさに基盤であり、これが廃れては地方創生など成り立つはずありません。一方、地域には都会にはない強み、「地域力」があります。役場職員と住民、あるいは住民同士が結束し、そこに地域の大学や地元企業のサポートを得て「地域のインフラはみんなで造り、みんなで守る」を合言葉に、インフラに対して関心と愛着を持ち、長持ちするための活動を行えば、まだまだインフラも地域も廃れることはありません。そればかりか、こうした取り組みによって、インフラの上に成り立つ住環境、水、エネルギー、さらには医療・介護・防災を含む自立した地域づくりが進めば、新たなロールモデルとして国内外に発信する好機につながると考えています。



▲産学官民の連携による地域づくり



▲自立した地域づくりモデル



いえだ ひとし
家田 仁

政策研究大学院大学 特別教授
東京大学 名誉教授

【略歴】

1978年 東京大学工学部土木工学科卒業、日本国有鉄道入社。

1984年 東京大学工学部 助手、1986年 助教授、1995年 教授、
2014年 政策研究大学院大学教授を兼務。

2016年 東京大学還暦定年退職し、2016年より現職。

2020年度土木学会会長（第108代）を歴任。

途中、1988-1989年 ドイツ宇宙航空研究所客員研究員、

1993-1994年 フィリピン大学客員教授、2008年 中国清華大学客員教授、

2016年 中国北京大学客員教授として派遣。



にしやま こういち
西山 宏一

株式会社奥村組 東日本支社リニューアル技術部長

【略歴】

1996年 熊本大学大学院修士課程修了、株式会社奥村組入社。
阪神淡路大震災で被災した東灘処理場震災復旧工事と
神戸市の鈴蘭台污水幹線築造工事における6年間の工事所勤務の後、
一貫してリニューアル分野の業務を担当。
補修材料や施工機械の開発、構造物の調査・診断、
補修・補強工事の積算・施工計画など多岐に渡る業務を担う。

【パネリスト】



みやた としたか
宮田 年耕

首都高速道路株式会社 顧問

※写真提供：首都高速道路株式会社

【略歴】

1975年 京都大学大学院土木工学科修了、建設省（現・国土交通省）入省。
2002年 道路局企画課長、2005年 九州地方整備局長、
2006年 道路局長を歴任し、2008年 国土交通省を退官。
2011年 首都高速道路株式会社常務執行役員に就任し、
2016年 代表取締役社長を経て、2021年より現職。
途中、2018年 公益社団法人日本道路協会会長を歴任。

【パネリスト】



やまむら あきよし
山村 明義

東京地下鉄株式会社 代表取締役社長

※写真提供：東京地下鉄株式会社

【略歴】

1980年 東北大学工学部土木工学科卒業、
帝都高速度交通営団（現・東京地下鉄株式会社）入社。
1999年 工務部管理課長、2004年 人事部人事課長、
2007年 鉄道本部鉄道統括部長、2015年 専務取締役鉄道本部長を経て、
2017年より現職。

【パネリスト】



もり まさふみ
森 昌文

内閣総理大臣補佐官
(国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに
科学技術イノベーション政策その他特命事項担当)

【略歴】

1981年 東京大学工学部土木工学科卒業、建設省（現国土交通省）入省。
アメリカ合衆国連邦運輸省道路庁勤務、
土木研究所 ITS 研究室長 九州地方整備局福岡国道工事事務所長を経て、
2008年 道路局企画課道路経済調査室長、2010年 道路局高速道路課長、
2013年 大臣官房技術審議官、2014年 近畿地方整備局長、
2015年 道路局長、2016年 技監、2018年 国土交通事務次官を歴任。
2019年7月に退官、国土交通省 顧問を経て、
2020年6月より東日本高速道路株式会社 代表取締役兼専務執行役員に就任。
2021年12月に退任後、2022年1月より現職。
東京大学、京都大学、筑波大学、立命館大学等の客員教授も務める。

【パネリスト】



さなだ じゅんこ
真田 純子

東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授

【略歴】

1996年 ヴルカヌスプログラム（日欧産業協力センター）にてイタリア留学。

2000年 東京工業大学大学院社会理工学研究科 修士課程修了、

2005年 博士（工学）取得。2005年 東京工業大学 特別研究員、

2007年 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 助教、

2015年 ヴェネチア建築大学客員研究員を経て、2015年より現職。

一般社団法人石積み学校 代表理事。

2020年「図解 誰でもできる石積み入門」（農山漁村文化協会 2018年刊）

により令和元年度土木学会賞出版文化賞を受賞。

【コーディネーター】



おくむら たかのり
奥村 太加典

株式会社奥村組 代表取締役社長

【略歴】

1986年 中央大学工学部土木工学科卒業、株式会社奥村組入社。
1994年 取締役、2001年 常務取締役を経て、同年12月より現職。

第31回（令和元年）～第1回（昭和63年）

（敬称略、役職名は当時）

－ 令和2年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、技術セミナーは開催せず －			
第31回	令和元年11月18日（月） 基調テーマ：建設分野におけるAI 基調講演「AI活用による土木建築の変革の現状と展望」 パネルディスカッション ※テーマ設定なし	場所：東京国際フォーラム ホールD7 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 教授 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 横浜国立大学 先端科学高等研究院 特任教授 首都高速道路株式会社 執行役員 株式会社 日立プラントコンストラクション 事業統括本部研究開発部 CPM	矢吹 信喜 矢吹 信喜 櫻井 彰人 土橋 浩 羽鳥 文雄
第30回	平成30年11月16日（水） 基調テーマ：強靱な社会をつくる ～国と企業の危機管理対策とは～ 基調講演「強く、しなやかな国、日本」を目指して 対談 「強靱化へ向けた危機管理の要諦とは」	場所：東京国際フォーラム ホールD7 京都大学大学院 工学研究科 教授 京都大学レジリエンス実践ユニット長 同上 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進 (IT イノベーション) 課長	藤井 聡 藤井 聡 中野 剛志
第29回	平成29年11月1日（水） 基調テーマ：都市型大規模火災への備えとは 基調講演「都市型災害の進化と大規模火災のリスク」 パネルディスカッション 「都市型大規模火災への備えとは」	場所：東京国際フォーラム ホールD7 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 研究科長・教授 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 早稲田大学創造理工学部 教授 東京大学生産技術研究所 准教授 消防庁消防研究センター 主任研究官	室崎 益輝 室崎 益輝 長谷見雄二 加藤 孝明 鈴木 恵子
第28回	平成28年11月21日（月） 基調テーマ：イノベーションが拓くインフラ産業の未来 ～新たな挑戦と成功へのヒント～ 基調講演「イノベーションが拓くインフラ産業の未来」 「イノベーションの実践－QPMI サイクルを回せー」 パネルディスカッション 「イノベーションが拓くインフラ産業の未来 ～新たな挑戦と成功へのヒント～」	場所：東京国際フォーラム ホールD7 京都大学大学院工学研究科教授 株式会社リバネス代表取締役CEO 【コーディネーター】 京都大学大学院工学研究科教授 【パネリスト】 株式会社リバネス代表取締役CEO 阪神高速道路株式会社 技術部技術推進室 (株)奥村組東日本支社土木技術部	木村 亮 丸 幸弘 木村 亮 丸 幸弘 篠原 聖二 木下 茂樹
第27回	平成27年11月20日（金） 基調テーマ：大規模水災害への備えとは 基調講演「水害と日本人のアイデンティティ」 パネルディスカッション 「大規模水災害への備えとは」	場所：東京国際フォーラム ホールD7 特定非営利活動法人日本水フォーラム 代表理事・事務局長 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 中央大学理工学部教授 一般財団法人水源環境センター 理事長 公益財団法人リバーフロント研究所 理事	竹村公太郎 竹村公太郎 山田 正 森北 佳昭 土屋 信行

第26回	平成26年12月11日(木) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:インフラ産業の未来を創る ～魅力の発見・創造・発信～ ((一社)計画・交通研究会との共催) 基調講演「デザインので公共を変える」 「対話する社会基盤」 パネルディスカッション 「インフラ産業の未来を創る ～魅力の発見・創造・発信～」	前橋工科大学工学部 教授 韓 亜由美 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 【コーディネーター】 フリーアナウンサー 青山 佳世 【パネリスト】 前橋工科大学工学部 教授 韓 亜由美 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 NPO法人「道普請人」常務理事 福林 良典 (株)奥村組東日本支社リニューアル技術部 西山 宏一
第25回	平成25年12月2日(月) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:より良い国土を次世代へ引継ぐために ～社会資本の整備、維持管理・更新はどうあるべきか～ 基調講演「社会資本の思想 ー国土学を考えるー」 パネルディスカッション 「より良い国土を次世代へ引継ぐために ～社会資本の整備、維持管理・更新はどうあるべきか～」	一般財団法人国土技術研究センター 国土政策研究所長 大石 久和 【コーディネーター】 同上 大石 久和 【パネリスト】 京都大学経営管理大学院 特定教授 田村 敬一 一般財団法人橋梁調査会 専務理事 西川 和廣 東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部 設備部企画担当部長 興石 逸樹
第24回	平成24年12月7日(金) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:災害に強い国土づくりとシステムの進化 ～これまでとこれから～ 報告「東日本大震災における奥村組の対応について」 基調講演「災害に強い国土づくりとシステムの進化」 パネルディスカッション 「災害に強い国土づくりとシステムの進化 ～これまでとこれから～」	(株)奥村組東北支店復興プロジェクト室 福知 克美 東京大学大学院工学系研究科 教授 家田 仁 【コーディネーター】 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 本田 利器 【パネリスト】 東京大学大学院工学系研究科 教授 家田 仁 京都大学大学院工学研究科 教授 木村 亮 国土交通省大臣官房技術審議官 深澤 淳志 株式会社三菱総合研究所参与 村上 清明 (株)奥村組東北支店復興プロジェクト室 福知 克美
第23回	平成23年11月2日(水) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:首都直下型地震に立ち向かうために ～最悪のシナリオを想定した備えとは～ 基調講演「首都直下型地震で被災しないために」 パネルディスカッション 「首都直下型地震に立ち向かうために ～最悪のシナリオを想定した備えとは～」	関西大学社会安全学部長・教授 河田 恵昭 【コーディネーター】 同上 河田 恵昭 【パネリスト】 東京大学生産技術研究所 教授 目黒 公郎 明治大学政治経済学研究科 特任教授 中林 一樹 東京海上日動リスクコンサルティング 主席研究員 指田 朝久
第22回	平成22年12月2日(木) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:社会基盤を速く造るために (東京大学グローバルCOEプログラム「都市空間の持続再生学の展開」との共催) 基調講演「契約発注の工夫によるリードタイム短縮の可能性」 「施工改革がもたらす時間・コストの縮減と環境負荷低減」 パネルディスカッション 「社会基盤を速く造るために」	東京大学 生産技術研究所長 野城 智也 東京大学 教授 前川 宏一 【コーディネーター】 東京大学 准教授 福井 恒明 【パネリスト】 東京大学 生産技術研究所長 野城 智也 東京大学 教授 前川 宏一 アジア航測(株) 武藤 良樹 (株)奥村組技術研究所長 栗本 雅裕

第21回	平成21年12月2日(水) 場所:東京国際フォーラム ホールD7 基調テーマ:環境リスクの低減に向けて～土壌汚染の現状と対策～ 基調講演「土壌地下水汚染対策の現状と課題」 パネルディスカッション 「環境リスクの低減に向けて～土壌汚染の現状と対策～」	和歌山大学 理事 平田 健正 【コーディネーター】 同上 平田 健正 【パネリスト】 土壌環境センター 北岡 幸 国際環境ソリューションズ 中島 誠 日本不動産研究所常勤顧問 山本 忠
第20回	平成20年12月5日(金) 場所:中央区築地 浜離宮朝日ホール 基調テーマ:首都直下地震～減災コミュニケーションに向けて 基調講演「首都直下地震の震災像と防災上の問題点 ー自助公助による減災を目指してー」 パネルディスカッション 「首都直下地震～減災コミュニケーションに向けて」	関東学院大工学部 社会環境システム学科教授 若松加寿江 【コーディネーター】 同上 若松加寿江 【パネリスト】 東京大学大学院情報学環総合防災研 情報研究センター 准教授 大原 美保 工学院大工学部建築学科 教授 久田 嘉章 都市防災研究所 事務局長 守 茂昭
第19回	平成19年11月30日(金) 場所:港区港南 コクヨホール 基調テーマ:事業継続計画(BCP)を根付かせるために ～実効性を高める取り組みとは～ 基調講演「事業継続計画(BCP)を根付かせるために」 パネルディスカッション 「事業継続計画(BCP)を根付かせるために ～実効性を高める取り組みとは～」	京都大学教授 丸谷 浩明 【コーディネーター】 同上 丸谷 浩明 【パネリスト】 (株)日立製作所上席コンサルタント 梶浦 敏範 協立化学産業(株)取締役生産統括 金田 秀文 (株)奥村組BCP専門チームリーダー 鶴谷 雅之
ー平成18年は、創立百周年記念講演会開催のため、技術セミナーは開催せずー		
第18回	平成17年11月8日(火) 場所:墨田区横綱 KFCビルホール 基調テーマ:災害への抵抗力を高める防災・減災工学 ～自然災害から社会資本を守る～ 基調講演「環境学としての構造安全論」 パネルディスカッション 「災害への抵抗力を高める防災・減災工学」	東京大学 新領域創成科学研究科 教授 神田 順 【コーディネーター】 同上 神田 順 【パネリスト】 東京大学地震研究所 助教授 工藤 一嘉 福岡大学工学部建築学科 教授 高山 峯夫 ABS Consulting シニア・テクニカル・マネージャー 川合 廣樹
第17回	平成16年10月21日(木) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:巨大地震の震源像、地震動、予想される災害 ～やや長周期地震動の脅威と対応～ 基調講演「巨大地震の震源像、地震動、予想される災害」 パネルディスカッション 「巨大地震の震源像、地震動、予想される災害」	京都大学 副学長 入倉孝次郎 【コーディネーター】 同上 入倉孝次郎 【パネリスト】 京都大学 原子炉実験所 助教授 釜江 克宏 消防研究所基盤研究 部長 座間 信作 京都大学大学院工学研究科 助教授 清野 純史 (株)奥村組建築設計部 舟山 勇司

第16回	平成15年11月4日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:世紀を超えるコンクリート構造物への挑戦 基調講演「世紀を超えるコンクリート構造物への挑戦」 パネルディスカッション 「世紀を超えるコンクリート構造物への挑戦」	京都大学大学院工学研究科 教授 【コーディネーター】 東洋大学工学部環境建設学科 【パネリスト】 鹿児島大学工学部海洋土木工学科 助教授 東日本旅客鉄道(株) 宇部生コンクリート(株) (株)奥村組技術研究所	宮川 豊章 福手 勤 武若 耕司 津吉 毅 吉兼 亨 東 邦和
第15回	平成14年12月5日(木) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:都市防災と危機管理 基調講演「都市防災と危機管理」 パネルディスカッション 「都市防災と危機管理」	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター長・教授 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 NHK解説委員 東京都立大学大学院都市科学研究科 教授 慶應義塾大学商学部助教授	河田 恵昭 河田 恵昭 藤吉洋一郎 中林 一樹 吉川 肇子
第14回	平成13年11月8日(木) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:都市再生 基調講演「今、何故、何が都市再生なのか」 パネルディスカッション 「都市再生」	計量計画研究所理事長 東京工業大学 名誉教授 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 日本開発構想研究所研究 本部長 オリエンタルコンサルタンツ顧問 日本プロジェクト産業協議会	黒川 洸 黒川 洸 阿部 和彦 秋口 守國 成田 高一
第13回	平成12年11月10日(金) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:ITと建設 基調講演「ネットワーク時代のビジネスモデル」 パネルディスカッション 「ITと建設」	慶應義塾大学 教授 【コーディネーター】 同上 【パネリスト】 国際大学GLOCOM教授 千葉工業大学工業デザイン学科 助教授 富士通(株)物流ソリューション部 部長	國領 二郎 國領 二郎 宮尾 尊弘 寺井 達夫 仲村 光文
第12回	平成11年9月9日(木) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:都市と環境 基調講演「これからの環境アセスメント」 パネルディスカッション 「環境・市民と都市の社会基盤整備」	東京工業大学大学院 教授 【コーディネーター】 東京大学大学院 教授 【パネリスト】 東京工業大学大学院 教授 運輸政策研究機構調査役 ランドブレイン(株)都市計画部室長補佐 応用地質(株)理事	原科 幸彦 家田 仁 原科 幸彦 加藤 浩徳 紙田 和代 高木 泰
第11回	平成10年9月8日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:都市と環境 基調講演「地球環境の将来見通し」 パネルディスカッション 「地球環境負荷削減:都市と生活の改造は可能か?誰が実施するのか?」	京都大学大学院 教授 【コーディネーター】 名古屋大学大学院 教授 【パネリスト】 弁護士・気候ネットワーク代表 (財)電力中央研究所上席研究員 (株)日建設計土木事務所設計室長	松岡 譲 林 良嗣 浅岡 美恵 丸山 康樹 杉山 郁夫

第10回	平成9年9月2日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:都市と地震防災 基調講演「防災に関する緊急的課題とその解決の方向」 パネルディスカッション 「地震防災の将来像」	名古屋大学大学院 教授 【コーディネーター】 埼玉大学 教授 【パネリスト】 (株)システムアンドデータリサーチ社長 前橋工科大学 教授 東京大学大学院 教授	松尾 稔 渡邊 啓行 中村 豊 那須 誠 小谷 俊介
第9回	平成8年9月10日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:設定せず 講演 都市トンネル技術の動向 近代都市建設にみる先人たちの知恵	東京都立大学 名誉教授 作家	山本 稔 田村 喜子
第8回	平成7年11月30日(木) 場所:全共連ビル 基調テーマ:設定せず(久保慶三郎先生追悼講演会として開催) オープニングスピーチ 講演 直下型地震の危険性と予知 砂地盤の液状化現象とその対策 建物の耐震性と地震対策 世界と日本の地震災害 地震工学への1、2の宿題	東京大学 教授 東京大学 教授 東京工大 名誉教授 東京大学 教授 京都大学 教授 元東京大学 教授	片山 恒雄 阿部 勝征 吉見 吉昭 岡田 恒男 土岐 憲三 金井 清
第7回	平成6年9月13日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:災害に強い都市づくり 基調講演「都市の変貌と防災-多様化する都市型災害への対応」 パネルディスカッション	京都大学 教授 【コーディネーター】 東京大学 名誉教授 【パネリスト】 東京工業大学 教授 東京大学 助教授 京都大学 助教授	亀田 弘行 久保慶三郎 大町 達夫 山崎 文雄 林 春男
第6回	平成5年9月14日(火) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:21世紀の豊かな都市環境の創造に向けて 基調講演「21世紀の豊かな都市環境づくりへの課題」 パネルディスカッション	日本大学 教授 【コーディネーター】 東京大学 名誉教授 【パネリスト】 名古屋大学 教授 立命館大学 教授 先端建設技術センター常務理事	新谷 洋二 久保慶三郎 林 良嗣 塚口 博司 佐々木 康
第5回	平成4年8月20日(木) 場所:中央大学駿河台記念館 基調テーマ:社会基盤整備と地下利用 基調講演「社会資本の歴史と将来展望」 パネルディスカッション 「都市地下空間とインフラストラクチャー」	東京大学 教授 【コーディネーター】 東京大学 名誉教授 【パネリスト】 立命館大学 教授 東京工業大学 教授 ㈱奥村組東京支社	中村 英夫 久保慶三郎 春名 攻 木村 孟 畠山 哲雄

第4回	<p>平成3年9月10日(火) 場所:中央大学駿河台記念館</p> <p>基調テーマ:ライフラインと地震対策</p> <p>基調講演「ライフラインと地震対策」</p> <p>パネルディスカッション 「ライフライン・地盤・都市防災」</p> <p>東京大学 教授 【コーディネーター】</p> <p>片山 恒雄</p> <p>東京大学 名誉教授 【パネリスト】</p> <p>久保慶三郎</p> <p>京都大学 教授</p> <p>亀田 弘行</p> <p>東海大学 教授</p> <p>浜田 政則</p> <p>都市防災研究所</p> <p>小川雄二郎</p>
第3回	<p>平成2年8月29日(水) 場所:中央大学駿河台記念館</p> <p>基調テーマ:最新物体挙動解析法を中心に</p> <p>基調講演:「粒状体の運動」</p> <p>パネルディスカッション 「地震防災の最近のトピックスと将来への提言」</p> <p>東京大学 教授 【コーディネーター】</p> <p>伯野 元彦</p> <p>東京大学 名誉教授 【パネリスト】</p> <p>久保慶三郎</p> <p>日本大学 教授</p> <p>能町 純雄</p> <p>京都大学 教授</p> <p>土岐 憲三</p> <p>埼玉大学 教授</p> <p>渡辺 啓行</p> <p>(株)奥村組筑波研究所</p> <p>中江新太郎</p>
第2回	<p>平成元年8月23日(水) 場所:茗溪会館</p> <p>基調テーマ:Flow Slide と土木用新材料</p> <p>基調講演「LIQUEFACTIN - INDECEDED FLOW SLIDE OF EMBANKMENTS AND RESIDUAL STRENGTH OF SILTY SAND」</p> <p>東京大学 教授</p> <p>石原 研而</p>
第1回	<p>昭和63年8月30日(火) 場所:麴町会館</p> <p>基調テーマ:設定せず</p> <p>基調講演「第9回世界地震工学会議をふりかえって」 「ダムおよび斜面の耐震設計」</p> <p>東京大学 名誉教授</p> <p>久保慶三郎</p> <p>埼玉大学 教授</p> <p>渡辺 啓行</p>